

都政レポート

2015年第一号

ホームページでも情報発信中!

<http://otokitashun.com>

音喜多駿(おときたしゅん) / 1983年9月21日北区王子本町生まれ。
いなり幼稚園、北区立王子第二小学校卒の生粋の北区民。海城中学・高校、
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、外資系企業で7年間のビジネス経験を経て、
現在東京都議会議員一期目。平成26年度は厚生委員会(副委員長)に所属。
都議会会派「かがやけ Tokyo」では政調会長を務める。

2015年第一号 目次

みんなの党、消滅。その経緯とお詫びについて

政党と議員たちを狂わせた、選挙という魔物

おときた駿の今後について

<都議会活動報告>

シルバーパスには、合理的根拠がない!?
膨れ上がる社会保障費を抑制し、
将来世代に投資を!

みんなの党、消滅。その経緯とお詫びについて

平成26年12月2日を持って、公党「みんなの党」は正式に解党し、消滅いたしました。これまでみんなの党を支持して下さった皆さま、「みんなの党のおときた駿」に投票して下さった多くの方々に、まずは深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございません。

「みんなの党は、政策の党。それはブレていない」「党利党略などはない。誰とやるかより、何をやるか」
そう言い続けてきた私自身が、みんなの党に「ブレ」を感じ始めたのは、衆議員解散の雰囲気が漂ってきた今年の夏くらいからでしょうか。野党再編か。与党協調か。どの政党とも是々非々でやっていくはずの我々が、**いつの間にか自分たち自身が唾棄していた存在に成り下がっていました。**いずれの立場をとる国会議員の勢力も過半数を得ることができず、「解党」という妥協に20人中13人の国会議員が賛成し、みんなの党は解党に至りました。



政党と議員たちを狂わせた、選挙という魔物

同じ志の元で歩んでいた我々をここまで狂わせたもの。それは間違いなく、選挙という魔物です。低支持率と落選に怯える一部の議員たちは、いつしか自分の選挙区事情で主張を変えるようになりました。志は変わっていないのかもしれませんが。国や国民を思う気持ちも、残っていたと信じたい。それでも、**「まず受からなければ、何もできない」**この魔法の言葉で、議員たちは堕ちていきました。確かに、議員は落選すればただの人。三期、四期と当選を重ねなければ、政策実現に近づくための力は持てないのが、日本の議会システムです。

しかしそのために…政策や理念を捻じ曲げて、お粗末な協議で選挙協力をする。自分のポスターを貼りまわったり、冠婚葬祭の出席に貴重な時間を費やす。政党助成金という税金で、知名度向上のための政治活動を行う。これが政治家に許されるというのなら、**わたしたちは間接民主主義というシステムに対して、あまりにも高いコストを払いすぎている**のではないのでしょうか。

おときた駿の今後について

「みんなの党がある限り、その元で行動する」そう言い続けてきた私ですが、強制的に無所属という立場になりました。今後については、このまま当面、無所属の立場でいるつもりです。組織に帰属しない立場から、政治と政党について私なりに考える時間をいただきたいと思います。もちろん、**日本の議会制民主主義は政党政治であり、いつまでも無所属というのは現実的ではありません。**どこかの政党に所属する際には、また皆様にしっかりとご説明をさせていただきたいと考えています。また、都議会会派「みんなの党 Tokyo」は**「かがやけ Tokyo」と名称を変えますが、その政策やメンバーは変わらずに活動を続けていきます。**今後ともご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。



東京都議会会派

かがやけ
Tokyo

シルバーパスには、合理的根拠がない!?

膨れ上がる社会保障費を抑制し 将来世代に投資を!



私おときた駿は今年度、厚生委員会副委員長を拝命し、平成 26 年 11 月に初めての委員会質問に立ちました。他の委員たちが全員「〇〇の更なる充実・予算の拡大」を訴える中、**支出を抑制する提案・質問をしたのは私ただ一人**でした。東京都の財政は地方自治体でもっとも裕福とはいえ、これから超高齢化・少子化を迎えるにあたって、その支出を抑制していくことはどうしても必要です。

その一つとして今回、私が取り上げたのが「**シルバーパス**」です。高齢者の皆さまの健康増進や、地域活動促進に寄与するとされているシルバーパスですが、残念ながらそこには**合理的な裏付け（実際に効果があったという測定結果）が一切ありません**。

また、たくさんの資産を持っている方でも、所得がなければ一律 1,000 円で入手できてしまうという

バラまき福祉の一面もあります。もちろん、低所得者などの本当に必要な人への配慮や継続は必要ですが、シルバーパスを 1 枚発行すると 20,510 円の財政負担が発生します。東京都のシルバーパス事業の予算は年間 160 億円を超え、なおも毎年増え続けており、これは子育て支援などと比較しても非常に大きな金額です。

私は委員会質問の中で、まずは**シルバーパスを IC 化して利用実態の把握に努めること、必要に応じて負担のお願いも検討すべき**ことを提案いたしました。



※画像引用：(一社)東京バス協会 東京バス案内 WEB

財政負担

一枚あたり

20,510 円



年間約

160 億円

提案

**IC化によって
利用実態の把握が必要**

提案

**必要に応じて
負担をお願いする**

こうした提言をすると「高齢者いじめだ」「その前に議員の給料を減らせ」と多くのお叱りを受けます。しかしながら、人口減少社会に突入した日本・東京都の財源は有限です。**これからの政治家は、未来の子どもたちのために皆さまに負担をお願いしたり、敢えて言いづらいことを提案していかなければいけません**。そんな議員は人気なくなるので、次の選挙が厳しい戦いになることはわかっていますが、私は自分の信念を曲げず、これからも政策提言をしたいと思います。もちろん、皆さまに負担をお願いする以上、議員報酬カットや定数削減など、「身を切る改革」も同時に強く主張して参ります。

「出張都政報告」にうかがいます!

「町内会で都政の報告をして欲しい」「自分たちの会合で東京都の話が聞きたい」「行政について話を聞きたい」等、皆さまのお集まりに呼んでいただければ、都議会議員おときた駿が**北区内どこへでも出張いたします!**(日時は要相談となります)

少人数でも、まずはお気軽に電話・ファックス・メールにておときた駿事務所までご連絡下さい。



ブログ、ツイッターで毎日情報発信中!

▶ **Twitter** <http://twitter.com/otokita/>

▶ **ブログ** <http://otokitashun.com/blog/>

おときた駿は、ブログや SNS をかかさず「毎日」更新し、政治や都政の現状をお伝えしております。そのブログ記事は、**BLOGOS**や**ハフィントンポスト**といった有名ニュースサイトでも頻繁に配信されています。ネットを活用される方は、ぜひ「**おときた駿**」で検索してみてください!

都政のこと、北区のこと… どんな小さなことでもかまいません。
皆さまの声をお寄せください!

お問い合わせは… mail@otokitashun.com

各種ご連絡先

おときた駿事務所

〒114-0034 東京都北区上十条 2-25-14

Tel/Fax 03-3908-3121

公式
QR
コード
へ!

